令和4年度　東北学生ハンドボール秋季リーグ戦　レギュレーション

令和4年8月20日
東北学生ハンドボール連盟

1. 出場資格

1.1. 協会登録

大会に参加するチーム・選手・役員は、公益財団法人日本ハンドボール協会、全日本学生ハンドボール連盟、東北学生ハンドボール連盟、所属県協会に登録されていなければならない。

1.2. 大会参加登録

大会への参加は、大会申込の際の申込書に記載された者のみ認められる。（大会期間中の追加は認められない）

2. 大会方式

男女各部1回戦総当たり制のリーグ戦形式

3. 男女各リーグ構成について

男子

男子1部　6チーム

男子2部　　2部以下のチーム数の合計が6チーム以下の場合

→1リーグで実施

2部以下のチーム数の合計が7チーム以上10チーム以下の場合

→2部A、2部Bの2リーグで実施

7チームの場合（2部A4チーム、2部B3チーム）

8チームの場合（2部A4チーム、2部B4チーム）

9チームの場合（2部A5チーム、2部B4チーム）

10チームの場合（2部A6チーム、2部B4チーム）

2部以下の参加チーム数が3季連続10チーム以上になった時に、男子3部リーグの設置を検討する。

女子

参加チームが5チーム以下の場合

参加全チームでAリーグを構成する

参加チームが6チームの場合、2パターンが存在する

1. Aリーグ 4チーム、Bリーグ 2チーム
2. Aリーグ 6チーム

※上記1.2.については、実情に応じて理事会で協議の上、決定する

参加チームが7チームの場合

Aリーグ4チーム、Bリーグ3チーム

4. 競技規則　公益財団法人日本ハンドボール協会　2022年度競技規則

※従来からの変更点（GK、ボールサイズ、スローオフエリア、パッシブプレーに関する事項）について、今大会は適用する。

5. チーム構成

試合に出場できる選手は16名までとする。ベンチ入りできる役員は5名までとする。

※交代地域外に1名の臨時トレーナー席を置くことができる。

6. 試合時間

男子1部・女子Aリーグ　前後半各30分（ハーフタイム10分）

男子2部リーグ及び

順位決定トーナメント・女子Bリーグ　前後半各25分（ハーフタイム10分）

※男女ともにリーグ戦は延長戦を実施しない

入れ替え戦（全部）　前後半各25分（ハーフタイム10分）

第1延長でも勝敗が決しない場合は、3名による7mtcを実施する。

7. チームタイムアウト

チームタイムアウトは男女各部において全試合3 回制とする。なお、チームタイムアウトを要求できるのは、役員として協会登録および大会参加登録されている者、かつ公式記録用紙に記載されている役員のみである。

8. 順位決定方法

8.1. リーグ戦で順位を決定する。

8.2. 勝ち＝2点、引き分け＝1点、負け＝0点のポイント方式による。

8.3. 順位の決定は次の順で行う。

① ポイントの多いチームが上位となる。

② 同点チームが2以上ある場合には、次の方式で順位を決定する。

A） 当該チーム間の対戦結果によるポイント数の多いチームが上位

B） 当該チーム間の対戦結果による得失点差の多いチームが上位

C） 当該チーム間の対戦結果による得点数の多いチームが上位

D） 全試合（リーグ全体）の得失点差の多いチームが上位

E)　全試合(リーグ全体)の得点数の多いチームが上位

③新型コロナウィルス感染症の影響による不参加チームの順位について

所属部の最下位とする。不参加チームが複数の場合は、当該チーム間において、前季順位の順に順位を決定する。

8.4.　チーム数減少への対応について

男女リーグの運営について、それぞれの部のチーム数の減少などにより、リーグの体裁を整えることができない場合は、その都度に対応する。(特に順位決定について、すべて同点の場合には、抽選にて順位を決定する。抽選の方法については、別に定める。)

9.　感染者・濃厚接触者が発生した際の試合結果の取り扱いについて

9.1.　感染者・濃厚接触者の発生時の試合結果

感染者が発生したチーム(感染者が発生したチームと対戦したチーム)が当局(保健所、所属大学等)の指示により、試合への参加が認められない試合については、棄権ではなく不戦敗扱いとする。公式記録は、16－0とする。

よって、自動で最下位、下部への降格といった処分とはならない。感染者が発生したチーム(感染者が発生したチームと対戦したチーム)においても、リーグ戦の期間中において、当局(保健所、所属大学等)の許可があれば、リーグ戦への途中復帰(参加)を認める。リーグ戦の開幕前にチーム内に感染者が発生した場合も、同様にリーグ戦への途中参加を認める。既に試合が実施できた結果は有効とする。

実施した試合結果および不戦敗扱いとなった記録により、リーグ戦の順位を決定する。なお、不戦敗となったチームの得失点を考慮する場合は、当該チーム間においては最下位とする。また、得点王の計算に不戦敗扱いの試合は加えない。

10.　全日本インカレ推薦チームについて

10.1.　推薦要件

10.1.1.　男子

東北学連推薦枠について

- 東日本インカレにおいて全日本インカレ出場権を獲得しているチームを除く、男子1部最上位チーム

東日本地区学連推薦枠について

- 東日本インカレにおいて全日本インカレ出場権を獲得しているチームを除く、男子1部2位チーム

10.1.2.　女子

- 原則、当該年度の春季リーグに参加していること

- 東日本インカレにおいて全日本インカレ出場権を獲得しているチームを除く、女子Aリーグ上位2チーム

11. 入替戦について

11.1. 入替戦を実施する。

11.2. 男子1部最下位のチームは同2部最上位のチームと入れ替え戦を行う。男子2部最下位のチームは、同3部最上位のチームと入れ替え戦を行う。女子Aリーグ最下位のチームは、女子Bリーグ最上位のチームと入れ替え戦を行う。ただし、チーム数の減少により、入れ替え戦を行う必要がない場合には、この限りではない。

12. ユニフォームについて

12.1. 適用規定

令和4年度(公財)日本ハンドボール協会のユニフォーム規定を適用する。ただし、下記12.3.については、この限りではない。

12.2. スポンサー広告について

スポンサー広告等の掲載は禁止される。広告の定義については(公財)日本ハンドボール協会および全日本学生ハンドボール連盟の諸規定に従う。ただし、今大会においては移行にともなう猶予期間とし、使用禁止・罰則適用は行わない。

12.3. 背番号の貼り番号について

背番号を貼り付けて(貼り番号を)使用することを認める。この場合(貼り番号)、元来のデザインから大幅な逸脱がないものを使用する。また、容易にはがれることがないようにしっかり固定されていなければならない。なお、全日本学連主催大会(東日本インカレ、全日本インカレ)においては貼り番の使用は認められないので注意すること。

13. その他

13.1. 誤記・登録ミス

13.1.1. 記録用紙に記載されていないプレーヤーがベンチ入りしていることやコート上でプレーしていることが分かった場合

大会規定に定められている人数に対して、記録用紙に記載されている人数が最大数未満の場合に限り、追加で記録用紙に記載することができる(大会にエントリーし、参加資格が認められているプレーヤーであることが条件)

13.1.2. 大会申込時と異なる背番号でプレーしていたことが競技中に判明した場合

競技を中断し、大会参加申込時の背番号のユニフォームに着替えなければならない。

13.1.3. 上記13.1.1および13.1.2についてはチーム責任者に段階的罰則が適用される。

13.1.4. 競技の再開は、中断の理由に相応しいスローで競技は再開する。

13.2. 表彰

13.2.1. チーム表彰は、各部2位までとする。

13.2.2. 優秀選手賞（ベストセブン）は、男子1部、女子Aリーグを対象とする。

13.2.3. 得点王は、男子1部、2部、女子A・Bリーグを対象とする。
※7mtによる得点も、個人得点に含める。

13.2.4. ベストレフェリー賞

13.2.5. 特別功労賞

13.3. 不測の事態への対応

ここに定めのない事項について対応が迫られた場合は、東北学生ハンドボール連盟理事会に諮ることとする、ただし、理事会を開催するいとまが無い場合は、理事長の専決処分にて対応することとする。